

「あいち食育いきいきプラン2020」における食育の目標の最終評価

※コロナの影響で調査中止、◎：達成、○：改善、△：改善見られず

◎：目標を達成したもの（2目標）、○：改善がみられるもの（10目標）、△：改善がみられないもの（15目標） 計27目標

1-1 食を通じて健康な体をつくるための目標

(2021年6月15日現在)

項目		基準年	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	最終値	状況	目標(2020)	担当課室	評価
○朝食欠食の割合	小学生(5学年)	1.8% (2015)	3.0%	2.4%	2.9%	3.2%	3.4%	3.4% (2020)	△	0%	保健体育課	バランスのとれた規則正しい食生活を実践するため、「早寝早起き朝ごはん」運動を展開していますが、基準年から5年間で、小学生、中学生、高校生の朝食欠食割合は増加しており、今後も朝食の重要性を啓発していく必要があります。
	中学生(2学年)	4.6% (2015)	4.7%	4.6%	4.5%	5.2%	5.3%	5.3% (2020)	△	3%以下		
	高校生(全日制2学年)	7.9% (2015)	8.4%	8.2%	8.6%	9.7%	9.0%	9.0% (2020)	△	5%以下		
	男子大学生	18.7% (2015)	-	-	16.8%	-	※	16.8% (2018)	○	15%以下	健康対策課	改善傾向にはあるものの、依然として高い状況にあり、更なる啓発が必要です。朝食欠食の割合は増加しており、更なる啓発が必要です。
	30歳代男性	9.4% (2015)	-	-	9.0%	-	16.1%	16.1% (2020)	△	5%以下		
○朝食に野菜を食べている小中学生の割合	小学生(5学年)	64.1% (2015)	63.3%	60.2%	60.0%	58.1%	58.6%	58.6% (2020)	△	80%以上	保健体育課	小中学生がバランスのよい食生活を送るために、児童生徒や保護者へ啓発を行っています。朝食での野菜摂取は進んでおらず、今後も啓発が必要です。
	中学生(2学年)	51.7% (2015)	52.8%	50.2%	53.0%	50.5%	51.0%	51.0% (2020)	△	80%以上		
○野菜の摂取量(成人1日あたりの摂取量)		265g (2014)	224g	272g	241g	306g	※	306g (2019)	○	350g以上	健康対策課	啓発を行ってきた結果、目標値より下回っているものの、改善傾向が見られます。
○肥満・やせの割合	肥満：小学生(5年生)	7.2% (2014)	7.1%	8.3%	6.0%	8.8%	7月末確定予定	8.8% (2019)	△	6%以下	保健体育課	学校での健康診断等の結果を踏まえて養護教諭が担任や栄養教諭と連携し、肥満の予防・改善の指導を行っています。子どもの肥満は、年度により変動が大きく改善傾向であるかははっきりしないため、今後も継続して指導を行う必要があります。
	肥満：中学生(2年生)	9.3% (2014)	6.2%	7.4%	7.8%	7.6%	7月末確定予定	7.6% (2019)	○	7%以下		
	肥満：高校生(2学年)	8.0% (2014)	6.8%	7.5%	7.0%	7.4%	7月末確定予定	7.4% (2019)	◎	8%以下	健康対策課	肥満予防啓発を行っています。4人に1人が肥満であり、今後も啓発が必要です。過度痩身リスクを啓発していますが、5人に1人が痩せであり、今後も啓発が必要です。自分の適正体重を認識し、体重コントロールを実践している人の割合は、男女ともに減少しており、今後も啓発が必要です。
	肥満：20～60歳代男性	24.2% (2012)	27.9%	-	-	-	※	27.9% (2016)	△	22%以下		
	やせ：20～30歳代女性	21.7% (2012)	21.5%	-	-	-	※	21.5% (2016)	○	16%以下		
○自分の適正体重を認識し、体重コントロールを実践している人の割合	男性	35.7% (2015)	-	-	27.0%	-	28.9%	28.9% (2020)	△	44%以上	健康対策課	自分の適正体重を認識し、体重コントロールを実践している人の割合は、男女ともに減少しており、今後も啓発が必要です。
女性	43.8% (2015)	-	-	38.1%	-	36.1%	36.1% (2020)	△	53%以上			
○健康な歯を持つ人の割合	むし歯のない3歳児	88.2% (2014)	89.8%	90.5%	91.4%	92.2%	-	92.2% (2019)	○	93%以上	健康対策課	歯の大切さを、園児・児童生徒や保護者に啓発を行い、基準年と比べて目標数値は改善し、幼児及び学童のむし歯についても県内全体で減少を示しています。8020運動の啓発を行っています。目標値を下回っており今後も啓発が必要です。
	第一大臼歯がむし歯でない小学3年生	90.8% (2013)	-	92.8%	-	93.8%	-	93.8% (2019)	○	94%以上		
	進行した歯周炎を有しない40歳	69.4% (2014)	59.6%	54.0%	50.1%	50.5%	-	50.5% (2019)	△	79%以上		

1-2 食を通じて豊かな心を育むための目標

項目		基準年	2016	2017	2018	2019	2020	最終値	状況	目標(2020)	担当課室	評価
○家族や友人と一緒に楽しく食事をする人の割合		77.4% (2015)	-	-	71.7%	-	68.1%	68.1% (2020)	△	80%以上	健康対策課	毎月19日を「おうちでごはんの日」とし啓発していますが、減少傾向にあります。
○農林水産業に親しむ県民の割合	農林漁業体験学習に取り組み小学校の割合(名古屋市を除く)	68.8% (2015)	77.4%	77.5%	77.4%	77.8%	68.5%	68.5% (2020)	△	80%以上	食育消費流通課	体験活動授業時間数減少の中でも活動が継続され、4年間は改善傾向にありましたが、最終年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け適正な評価ができませんでした。
	農林漁業を体験する主な活動参加者数	7.7万人以上 (2014)	8.1万人	8.2万人	8.0万人	8.0万人	※	8.0万人 (2019)	○	8.4万人以上	農政課	
○学校給食における地域の産物の活用	全食品数に占める県産食品数の割合	40.5% (2015)	38.8%	35.9%	35.3%	39.3%	40.4%	40.4% (2020)	△	45%以上	保健体育課	使用量が確保できない、価格が高い、価格が安定しない等の理由もあり、目標の達成はできませんでしたが、今後も継続した県産農林水産物活用の推進が必要です。
	年間に使用した県産食品の種類	54種類 (2014)	57種類	55種類	54種類	55種類	-	55種類 (2019)	○	60種類以上		

1-3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くための目標

項目		基準年	2016	2017	2018	2019	2020	最終値	状況	目標(2020)	担当課室	評価
○むだや廃棄の少ない食づくりを積極的にしている人の割合		41.8% (2015)	41.5%	34.9%	37.9%	45.3%	45.8%	45.8% (2020)	○	50%以上	食育消費流通課	2017年度に啓発冊子を作成し啓発を継続し、改善傾向が見られました。
○エコファーマー新規累計認定者数		5,306人 (2014)	5,525人	5,538人	5,637人	5,703人	5,731人	5,731人 (2020)	◎	5,600人以上	農業経営課	エコファーマーなど環境負荷軽減に取り組む生産者が増え、目標を達成しました。

2 食育を支えるための目標

項目		基準年	2016	2017	2018	2019	2020	最終値	状況	目標(2020)	担当課室	評価
○食育推進ボランティアから食育を学んだ人数		9.1万人 (2014)	10.5万人	11.3万人	10.7万人	11.1万人	1.3万人	1.3万人 (2020)	△	10万人/年間	食育消費流通課	4年間は目標を達成しましたが、最終年はコロナの関係で適正な評価ができませんでした。
○「いいともあいち運動」を知っている人の割合		19.6% (2015)	-	-	22.1%	-	22.7%	22.7% (2020)	○	25%以上	食育消費流通課	目標には至りませんでしたが改善傾向にあり、徐々に認知度は高まっています。